



# 未来心

第29号

平成26年  
2月1日



## 2014年の新年を迎えて

院長 中井志郎



新年明けまして、おめでとうございます。  
清々しい平成26年の年頭にあたり、職員の皆様には、心から新年のお慶びを申し上げます。

昨年は1300年前から続いています遷宮が、5月には60年に1回の出雲大社で行われ、10月には20年に1回の伊勢神宮の遷宮が無事に行われました。また、アベノミクスによる経済の上向き景気、2020年のオリンピックの東京への招致が決まったものの、医療行政では、今年4月の診療報酬改定は、実質マイナス改定となっており、更に厳しい時代がやってきます。

今年干支の「甲午（きのうま）」にあたり、十干（じっかん）の「甲」は、兜で草木の種を覆っている硬い殻を破って、芽を伸ばす状態を指します。新しい生命体のはじまりを表わします。

これからの医療は、10年先はどのような状態になっているか、医学は何処まで進歩しているか、医療はどういう変化を求められるかを、広島記念病院の職員各人が、それぞれの展望と創造性を持ち、それに向かって自分自身を作り上げていく野心を持たなければ、世間から置いていかれます。市内の4大病院に対抗出来る消化器疾患、がん病院としてやってきましたが、未だ、未完成の状態です。がんを取り扱う病院であれば、予防・早期発見のための情報発信、早期の治療から末期の治療、ケアまで出来なければ、広島での老舗とは言えません。

医療界に於けるマーケティング（患者・家族・紹介医・職員等）が求めているものを常に意識して、求められているものに対しての創意工夫を施して、新しい技術・知識を持ち、日々中味を向上させる努力をしなければ、真の意味での医療安全・安心・信頼は得られません。

再び、原点に立ち返り、職員全員が満足できる目標を立て、一つずつ達成していく底力を結集してください。

## 化学療法室です。

こんにちは。化学療法室です。ここでは、平成19年から主として抗癌剤の治療を行っています。それまでは、中央処置室で、小児や他の病気の患者様、胃カメラ、大腸ファイバー後の患者様などと一緒に点滴をされていた患者様により安全で安楽な環境の提供を行うため、ここ、4階病棟に併設されました。カーテンや点滴台、壁紙などはピンクを基調として、温かい柔らかな雰囲気を作られています。院長始め、開設に関わった方々の気持ちが伝わってきます。(かなっ?)



当初は、病棟看護師がローテーションで化学療法室勤務を行いました。スタッフのほとんどが、知識も経験もあいまいなまま、不安一杯で業務を開始しました。その後化学療法室マニュアル、化学療法レジメン、無菌製剤室など、環境が徐々に整えられて今に至っています。平成20年度から内科のクローン病や潰瘍性大腸炎の患者様の治療のお手伝いもさせていただいています。

化学療法室のスタッフや患者さまのアイ

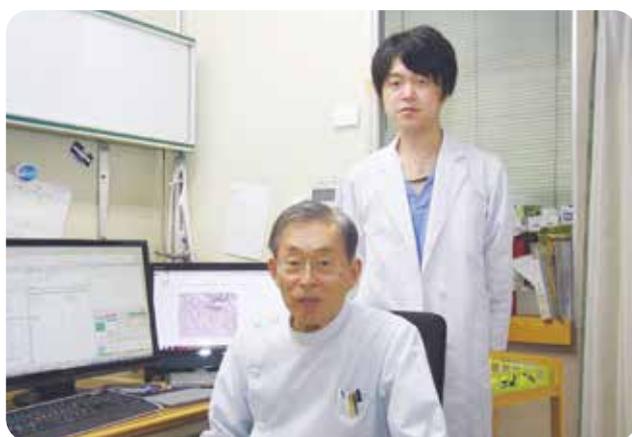
デアで整えた物品もあります。

- ①ドアノブのパッキン(エルプラット治療中の患者様がトイレに行かれる時にドアノブの金属の冷たさにビリビリ来るからどうかしてほしいと言われたため、施設課の棚田さんに相談したら取り付けてくださいました。)
- ②丸洗い可能なスリッパ(患者様がトイレに行かれる時に使用。スタッフの意見で採用しました。)
- ③トイレの落とし紙(知っていますか?トイレトペーパーの前身です。点滴中の患者様がトイレトペーパーが取り出しにくいと言われたため4階病棟で使用しているものを拝借しています。紙の減りがだんだん早くなってきました)・・・などなど。

化学療法の種類は、最初はパクリタキセル、ジェムザール、FOLFOXなどが多く、一人当たりの時間も45分～2.5時間程度でしたが、今は新しい治療がどんどん増え、分子標的薬の併用などで、6時間以上かかる治療を外来で始めることも珍しくなくなりました。長時間の治療も短時間の治療も(短時間といっても1時間以上かかる治療ばかりです。)できるだけ落ち着いた環境で安心して受けていただけるよう、スタッフも努力していきたいと思っています。



## 石田内科



### 1) 開業されたのはいつですか？

昭和54年5月1日に開業して、35年になります。

### 2) こちらは、訪問診療・訪問看護・デイサービスもされていますね。

また、最近診療体制が変わられたとお聞きしました。

己斐地区は高齢化がすすんでいますし独居の方も多いため、待っているだけではなくこちらから向かっていく医療が必要だと

考えています。また、医療だけ、介護だけではなく、両方が密接に連携していかないといけないと思っています。

哲先生 鹿児島県の病院で勤務していましたが、ここ3年くらいは週2日こちらに来て診療をしてきました。今年の12月からはこちらに戻って診療しています。

### 3) 電子カルテにされたのですね。

以前から少しずつ準備をして、今年の1月27日から本稼動しました。

画像や検査結果を患者さんに近くで見てもらえるようにモニターも置いたので、説明する時に患者さんにも分かりやすくなると思います。

また、長年かかっている患者様も多く、カルテを見返したりするのも今後は簡便になります。

### 4) 日々の診療で気をつけておられることはありますか。

やはり高齢の方が多いため、ご本人は大丈夫といってもご家族が心配されるというケースもあります。患者さん本人だけでなく、周囲の方にも安心してもらえるよう、十分に説明する事を心がけています。

### 5) 診療にお忙しい毎日の中で、ご趣味などはありますか。

院長先生：私は週に2～3回1時間程度の太田川沿いをウォーキングしています。

哲先生：私は今は空いた時間はもっぱら電子カルテのデータを打ち込むのに忙しくしています。

### 6) 広島記念病院についてどのように感じておられますか。

いつも重症の患者さんも受け入れてもらっているので助かっています。

今後も宜しくお願いします。



地図、  
診療時間作成中

## 鈴が台クリニック



1) 開業されたのはいつですか。また先生のご専門は？

昭和62年の4月です。形態学診断に興味があり、また患者さんにとって低侵襲で診断・治療ができる放射線科に魅力を感じて、専門医になりました。開業当時は、CTは高額で買えませんでした。当時注腸造影検査が出来るクリニックは珍しかったと思います。開業後に東洋医学を勉強して、漢方専門医の資格も取得しました。

2) 日々の診療で心がけておられる事はございますか。

患者さんの訴えにすぐに対応出来る機動力を大切にしています。私のクリニックではエコー心電図室・TVレントゲン室・CT室・処置室の全てが診察机から10歩以内というコンパクトさですので、患者さんの診察から検査、結果の説明と療養指導まで、少数のスタッフで効率的な対応が可能です。

3) 日々の診療の中でやりがいを感じられる時はどのような時ですか。

"どのような症状で来院された患者さんであっても、常にかんを念頭において、見逃しのないように診療しています。病巣が見つければ、直ちに紹介状を作成して連携病院の医師に連絡します。

CTやエコー検査で、自覚症状の無い段階の早期がんを発見し、素早い対応で根治に至った時などは放射線診断専門医冥利に尽きます。"

4) 先生にとって広島記念病院はどのような存在ですか（期待することはありますか）。

"広島記念病院には、学生時代に産科・外科の研修で、また医師になりたての頃にも、血管造影の応援で何度か行った事があります。

8年前には、胆石症で外科に入院し藤本先生にお世話になりました。

以前から各科の連携に優れており、いい意味で縦割りではなく、いつも柔軟に対応していただけるので大変助かっています。

休日前に急患を依頼した時なども、快く受入れてもらっていますし、患者さんからも、先生やスタッフの方に良くしてもらったと感謝されます。"

5) 診療後や休日はどうされていますか。

"「聞き学問の鬼」といわれるぐらい、各種の講習会や勉強会によく出かけて、各科の最新の知見を得るように努めています。

それからスーパー銭湯によく通います。十分な睡眠と休養をとってストレスを持ち越さないように心がけています。"



地図、  
診療時間作成中

## ニューイヤーコンサート

1月19日（土）午後1時半より、沖田夫妻のビオラとピアノの演奏によるニューイヤーコンサートを開催しました。

新春にふさわしい『春の海』からカープの応援歌、世界各国の愛をテーマにした曲などたくさん演奏していただき、最後にはみんなで『上を向いて歩こう』を歌ってお開きとなりました。

入院患者様・ご家族様など80名程度の参加を頂き、美しい音色に、手拍子を取られたり、時々口ずさんだり、思い思いに楽しんでおられました。



## 地域医療従事者研修会

### ●●月地域医療従事者研修会

日時：平成●●年●●月●●日（木）19：00～20：00

テーマ：『膵胆道系疾患とERCP』

講師：広島記念病院 膵・胆道科医長 胆道学会専門医 江口 紀章

『膵胆道系疾患とERCP』について、胆道学会専門医 膵・胆道科医長の江口 紀章が講演しました。胆道系疾患の総論から各論、膵疾患からはじまり、ERCPについて説明し、ERCPの実際では、動画・画像を交えて分かりやすく解説を行いました。

講義終了後は、ERCP時のワーファリン等の抗凝固剤への注意点や印刷業と胆道癌についてなどの質問がありました。また、ワンポイントアドバイスとして、第一検査は腹エコーで、胆管が2mm以上なら専門医に紹介することが大切であるなど説明を行いました。



# 1月地域医療従事者研修会

日 時：平成26年1月30日（木）18：00～19：00

"テーマ：『在宅褥瘡患者に対する当院の関わりについて  
～難治性褥瘡に対して入院治療を行い、退院後の連携を行った一例～』"

講 師：広島記念病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 森本純子、看護師 大山裕子、薬剤師 熊澤崇

1月の地域医療従事者研修会は、褥瘡対策委員会主催で行いました。

内容は、“難治性褥瘡に対する入院治療と退院後の連携を行った1例”を通して、看護師の大山より「褥瘡保有患者の転医前訪問」について、薬剤師の熊澤より「症例を通して外用剤について考える」という発表でした。

退院後の連携を図る目的で、行った転院前訪問では、転院先の医療機関と情報を共有することで継続ケアが図れ、患者様にとってよりよいケアに繋がり、患者様・ご家族と転院先の医療スタッフの安心となりました。

また、同じ症例を通してDESIGN-Rを示し、ガイドラインに沿って褥瘡治療薬である外用剤について考える機会をもてたことは、今後の褥瘡治療薬の適正使用につながるものと考えます。

最後に、皮膚・排泄ケア認定看護師の森本が、“在宅褥瘡患者に対する当院の関わり”として「地域医療との連携」という内容で、発表しました。

H24年度の診療報酬で認められた“専門性の高い看護師による訪問看護”について、訪問した症例を通しての学びや専門性の高い看護師による訪問看護の必要性などを考える機会となりました。

今回は、これから更に進んでいく高齢化や地域完結型医療に対して、私達はどのように対応していかなければならないかを考えることができた研修となりました。

特に、褥瘡ケアはチームで患者様のケアに取り組んでいくことが必要となります。これからもチーム一丸となってケアの質向上に努めていきたいと思えます。





平成26年1月18日（土）に、褥瘡・NST・緩和ケア合同勉強会を行いました。褥瘡対策委員会、NST委員会、緩和ケア委員会に関わっている私としては、この勉強会は以前より行いたいと思っておりましたが、なかなか実現することができず、今回やっと実現することができました。

勉強会のプログラムは以下の通りです。

## I. 褥瘡対策委員会

在宅褥瘡患者に対する当院のかかわりについて

～難治性褥瘡に対して入院治療を行い、退院後の連携を行った一例～

- ① 褥瘡保有患者の転医前訪問 大山 裕子 看護師
- ② 症例から考える外用剤 熊澤 崇 薬剤師

## II. NST委員会

- ① 栄養剤のイロイロ 北野 旭美 管理栄養士
- ② 新しい経管栄養 PTEGについて 坂下 吉弘 外科

## III. 緩和ケア委員会

- ① 癒して、癒されて、アロママッサージ体験 由茅 歩美 緩和ケア認定看護師

最近、褥瘡保有患者様の入院が多くあり、全員が治癒してから退院になるわけではないので、退院前に、転院先に訪問することにより患者様の情報や外用剤などの処置について詳しく申し送ることができ、切れ目ないケアが実現できるようになる取り組みで、大変素晴らしい事であると感じました。

NSTの発表では、栄養剤のイロイロということで、最近種類が増えている栄養剤について扱い区分、窒素源、形態、水分量などより分類し整理してくれました。これからも栄養剤の特徴を理解し、患者様に合ったものを適切に選択できるようになっていきたいと思います。次にPTEGですが、これは内視鏡的胃瘻造設が困難な方などに適応がある、経皮経食道胃管挿入術です。最近当科では、症例を選んで造設を行っておりますが、開腹術や全身麻酔なども不要で、有意義な方法であると思います。

緩和ケア委員会からは、アロママッサージ体験でしたが、みんな自然に笑顔になっており、スキップの重要性をあらためて感じました。忙しい日常業務の中で、なかなか一人の患者様に



ゆっくりと十分な時間をかけることは難しいかと思いますが、実際にマッサージを含めたケアを行うと、患者様を癒すことができ、またケアを行った側も癒されるようです。疼痛をはじめとした苦痛を伴う癌患者様に実践することで、患者様の心を開き、苦痛を緩和することができるのではないかと思います。



日々の仕事に疲れて休みたい土曜日の午後に、多くの参加者があり、大変うれしく思いました。患者様を中心としたチーム医療は、今や無くてはならないものですが、それぞれの活動を繋げ効率のよいケアを行うためには、今回のように各委員会のスタッフが同時に集まり、勉強し、意見を言い合える環境が必要であると思います。

最後に、場所を変えてアンデルセンで行った懇親会（飲みニケーション）も、大変楽しく有意義な時間が過ごせました。また、定期的を開催したいと思いますので、さらに多数の参加者（仲間）を期待しております。

## 第6回 広島記念病院公開講座

日 時：平成26年1月21日（火） 13：30～14：30

テーマ：「食べ物と便秘・下痢との関係を探ってみよう！」

講 師：広島記念病院 管理栄養士 西本 善子栄養科長

今回の公開講座は、当院の管理栄養士 西本善子栄養科長が、多くの方が経験している便秘・下痢と食べ物との関係について講義を行いました。

はじめに、お腹により食べ物について、私たちが日ごろ耳にしたことはあるものの、よくわかっていない

【特定保健用食品】トクホ（消費者省）  
について説明しました。

その中でも「お腹の調子を整える」食品について

☆オリゴ糖類を含む食品

☆乳酸菌類を含む食品

☆食物繊維類を含む食品

の代表的なものを紹介しました。

次に食物繊維の働きについて話をし、便秘解消には、朝食をとることの大切さを説明しました。

講演終了後、参加者から腸閉塞気味な場合の食事について質問を受け、病気との関連に注意したうえで効果的な野菜の切り方や摂取について説明しました。

当院の入院患者さまに配布している【解いてみようカード】という栄養についての質問・回答をカラフルなパンフレットにして配布、楽しみながら栄養のことについて学べる資料となりました。



# 清掃ボランティア

看護部 外来 酒井美明

平成25年12月21日（土）に、日頃からお世話になっている本川地区をはじめ、地域皆様への感謝の意味を込め、隅井雅晴診療部長の呼びかけで広島記念病院の職員24名で清掃活動を行いました。清掃範囲は広島記念病院の周辺の本川町、猫屋町、土橋町。集まったのは医師2名、薬剤師2名、看護師16名、検査技師3名、事務員1名でした。

当日は小雨の上、気温も低いというあいにくの天候でしたが、参加者を5つのグループに分け、グループ毎に協力し清掃を行いました。清掃中は、日頃話す機会がない職員同士の交流の場となり、さらに地域の方々にも声をかけていただき、寒さも吹っ飛びました。

参加者からは、「日頃気かけず歩いている道にもこんなにもごみが落ちていることに気が付きました。」や「こんなおしゃれなお店があったんだ、今度行ってみようと思います。」など、清掃活動の中で色々な気づきや、発見がありました。

終了後は、参加者で清掃活動お疲れ様会を行い、楽しい時間を過ごす事が出来ました。今後も、このような活動を通じて、本川地区をはじめとする地域の皆様への日頃の感謝をお返ししたいと思います。



# 広島記念病院「理念」「憲章」

## 理 念

患者の皆様が、安心して受診できる、やすらぎの環境及び満足と信頼が得られる最良の医療サービスを提供する。

## 憲 章

1. 私達は、「癒しの心」を医療の心として職務に専念します。
2. 私達は、患者様の人権と意思を最大限に尊重し、納得と同意に基づいた全人的医療を目指します。
3. 私達は、日々自己研鑽に励み、良質で温もりのある、地域に密着した医療を心がけます。
4. 私達は、地域医療体系に参加し各々の持てる機能の連携により、より合理的で効率的な良質の医療に努めます。

### 地域医療連携室

TEL 082 (503) 0730

FAX 082 (503) 1010

代表 広島記念病院

TEL 082 (292) 1271

FAX 082 (292) 8175

庶務課

TEL 082 (503) 1001

### 内科・外科

FAX 082 (503) 0722

産婦人科・小児科

FAX 082 (503) 0723

耳鼻科・皮膚科・泌尿器科

FAX 082 (503) 1010

### 記念寿

TEL 082 (294) 8400

FAX 082 (294) 8420

合庁(合同庁舎診療所)

TEL 082 (221) 9411

FAX 082 (223) 6204

歯科診療所

TEL 082 (294) 7858

## 外来診療担当表

平成26年1月1日現在

診療科	受付時間	区 分	月	火	水	木	金	土
内 科	8:30~11:00	一 診	隅 井	山 田	隅 井	隅 井	津 賀	当 番 医
		二 診	江 口	田 村	津 賀	江 口	田 村	
		三 診	炭 田	児 玉	炭 田	児 玉	山 本	
		四 診				山 田		
総合診療科 (4/2~1階)	8:30~11:00			横 崎		串 畑		休 診
外 科	8:30~11:00	一 診	藤 本	中 井	藤 本	宮 本	中 井	当 番 医
		二 診	宮 本	横 山	坂 下	横 山	坂 下	
	13:00~14:30	手 術	手 術	手 術	手 術	手 術	手 術	
		手 術	藤 本	中 井	手 術	手 術	中 井	
産婦人科	8:30~11:00	一 診	本 田	横 田	横 田	横 田	横 田	休 診
		二 診	吉 本	吉 本	本 田	吉 本	吉 本	
	13:00~14:30	一 診	横 田	手 術		手 術	吉 本	
小児科	8:30~11:00	一般診療	岸	岸	岸	岸	岸	
	13:00~13:30	健診・予防接種	予防接種	乳児健診(予約)	1ヶ月健診(予約)	予約検査	予防接種	
耳鼻咽喉科	8:30~11:00	一 診	長 田		長 田			立川、又は杉本
		二 診						
皮膚科	8:30~11:00		河 合				森 楠	
泌尿器科	8:30~11:00						宮 本	
眼 科	8:30~11:00	一 診	金 本	金 本	金 本	金 本	三 浦	
		二 診		藤 東		藤 東		
	午後(予約のみ)	手 術	検 査	手 術	検 査			
広島記念診療所 歯 科	8:30~11:00		山 田	山 田	山 田	山 田	山 田	電話番号 294-7858
	13:00~16:00		山 田	山 田	山 田	山 田	山 田	

\* (注) 土曜日は休診ですが、内科一診、外科一診は診察しております。  
歯科を除く各科とも再診は7:30から受付しています。

部分(ピンク色)は女性医師です。

## 広島記念病院案内図



### 交通のご案内

JR 広島駅より市内電車宮島行き・己斐行・江波行にて、  
本川町下車、南へ100メートル徒歩1分  
広島バス商工センター行き・祇園大橋行きにて  
本川町下車、南へ100メートル徒歩1分  
広島駅前よりタクシーで約10分

### 駐車場

立体駐車場72台、平面駐車場10台  
身障者専用駐車場3台  
詳細は病院ホームページをご覧ください